

個人山行報告書

通算山行NO	NO. 1427	報告者	後藤隆徳
年月日	2010年10月2日(土)～3日(日)	2万5千	木曾駒ヶ岳・空木岳
山名	宝剣岳(2931m)～空木岳(2864m)		岳
体力度=3・普通 技術度=3・普通 道標=ある 駐車場=ある トイレ=千畳敷 景観度=よい 三角点名=駒ヶ岳(空木岳) 等級=二等 温泉=こぶしの湯(600-)			
意外と長い縦走路			
コースとタイム	2日(晴)=3:00下土狩発-7:45千畳敷発-8:25乗越浄土着-8:45宝剣岳着-9:25極楽平着-11:45～12:10檜尾岳(昼食)-13:30熊沢岳着-14:50東川岳着-15:10木曾殿山荘(泊) 3日(晴)=5:30木曾殿山荘発-7:00空木岳着-11:40登山道入り口着-12:00池山林道P着-こぶしの湯-18:00長泉着		
単純標高差	上り 千畳敷約2612m～宝剣岳2931m=約319m 下り 空木岳2864m～林道終点約1150m=約1714m		
参加者	L後藤、近森、世古、村山、ほか全15名		



2日=久しぶりの中アだった。麗峰では以前、東川から空木岳～南駒ヶ岳～越百山、幸ノ川～木曾駒、西横川谷など上っていた。天気は無風快晴。千畳敷の紅葉はちょっと早い。ここで清水労山のYさんパーティーに会った。三ノ沢岳に行くという。本当は空木岳に行きたかったらしいが、木曾殿山荘が予約出来なかったとのこと。去年の私たちも夏頃予約で駄目だった。予約は春必要なのだ。

隊は宝剣岳経由に9名、他はノンビリと極楽平経由。世古、村山さんは宝剣に向かった。極楽平に上る。富士山が小さく、南アルプス、三ノ沢岳が大きかった。

ここからまずは檜尾岳(2728m)を目指す。檜尾岳まで約3時間、上ったり下ったり結構長さを感じる。まあ、最も下土狩3時発で寝不足は否めない。

余りの陽気の良さに時々欠伸が出てくる。稜線の紅葉は今夏の猛暑でイマイチ。葉が何か焼けてしまった感じ。唯一、ウラシマツツジが見事だった。

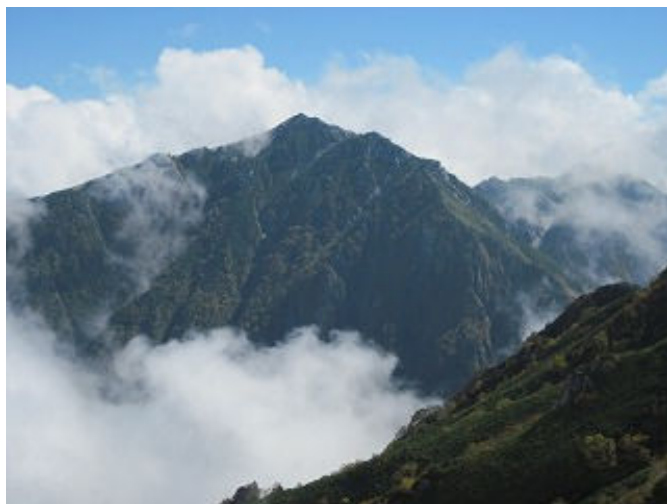
檜尾岳には避難小屋がある。30年前泊まったことがある。ここから岩っぽい縦走路になる。大きな岩場ではないが結構面白い。先行の大阪のツアー団体が苦勞していた。熊沢岳(2778m)から空木岳が大きく立派。

最後のピーク東川岳（2671m）を下ると木曾殿山荘（2510m）が見えた。清潔な小屋だった。トイレは大、小、紙が一つの便器で分かれている最新式だった。宿泊者は80名程。久しぶりの小屋泊で寝床は2階の大広間に雑魚寝だが、案外よく眠れた。

3日＝回りは晴れているが2600m以上は霧で風が強い。5：30、トップで出発。最初から物凄い急登が続く。ツアー2団体が後続する。1時間半で頂上着。展望がなく残念。池山尾根を下る。途中、大きな駒石がある。上って万歳。この辺りダケカンバの紅葉はまあまあだった。72歳の単独日帰りがいた。下を1時に出発とのこと。池山尾根は長いが歩き易い尾根だった。12時丁度林道に出て近くの「こぶしの湯」（食堂あり）に向かった。いい山でした。



ちょっとした岩場



熊沢岳から空木岳遠望



木曾殿山荘から空木岳